

レファレンス だより

2013年1月号
No. 122

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2012年10月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
98	1,732	371	373	427
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
483	85	695	957	5,221

（開館日 24日 一日平均 217件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：酵素とは？また温度との関係も知りたい。

■事典を確認する

『健康・栄養食品事典』（林 輝明・吉川 雅之／監修 東洋医学舎 2008年）2階 E2 R498.5/7

酵素とは生体内で物質の合成・分解が円滑に進むように触媒の働きをするタンパク質。このような酵素の働きを酵素反応といい、酵素反応を受ける物質を基質という。英語ではエンザイム（Enzyme）、ドイツ語ではエンチム（Enzym）。酵素は生理学的な働きによって、消化酵素、呼吸酵素、筋肉酵素、凝血酵素、発酵酵素などに分けられる。また酵素反応の型によると、酸化還元酵素、転移酵素、加水分解酵素、脱離酵素、異性化酵素、合成酵素の6種類に分類されるとある。

『タンパク質の事典』（猪飼 篤・伏見 讓／編集 朝倉書店 2008年）2階 E2 R464.2/7

酵素は生化学反応を加速する触媒であるが、酵素反応の速度は温度や水素イオンの濃度によって大きな影響を受ける。温度との関係について調べると、ある温度までは活性は上昇するが、それ以上温度を高くすると活性は逆に低下するとある。酵素活性と温度依存性の表も掲載されており、およそ50℃から100℃の間で活性が急激に低下すると説明がある。

■生化学関連の図書を調べる

『酵素反応のしくみ』（藤本 大三郎／著 講談社 1996年）閉架書庫 464.5/7

酵素反応は温度を上げれば、速度が大きくなる。しかし、酵素は温度が高くなると立体構造が壊れて、触媒活動を失ってくる。どのくらいの温度にまで耐えられるかは、酵素によって違うが、多くの酵素は60℃ぐらいに加熱すると変性して活性を失う。なかには、もっと低い温度で活性を失う酵素もあれば、頑丈で100℃のお湯の中につけても平気な酵素もある。高温にも耐える安定性の高い酵素は、産業に利用するのに有利であるとある。

『酵素のはたらき』（徳重 正信／著 東京大学出版会 1988年）2階 E7 464.5/1

酵素はタンパク質を主成分とするため、熱や酸、アルカリに弱く、熱湯に浸すだけですぐ凝固、または失活してしまうとある。

■酵素の発見について

『酵素』（一島 英治／著 東海大学出版会 2001年）2階 E7 464.5/1

『酵素のおはなし』（大島 敏久・左右田 健次／著 日本規格協会 1997年）2階 E7 464.5/7

1836年、細胞学者シュワン（T.Shuwan）は、胃液中に肉を溶かす働きを持つ物質（酵素）が含まれることを発見、ペプシンと名づけた。また胃液が中性では働かないのに酸性だと肉を溶かすこと、加熱処理をした胃液には肉を溶かす働きがないことを実験で示した。ペプシンの発見はタンパク質を消化する酵素の研究において画期的な発見となった。また1833年フランスのペイヤン（A.Payen）とペルソ（J.F.Perso）らは麦芽の抽出液からジアスターゼを発見。この物質はでんぷんを分解し、糖を生じさせる働きを持つこと、加熱するとその働きが失われることなどを示した。



その他にもこんな質問がありました

Q：相撲力士の給与や懸賞金はどのくらいか？

■相撲関連

『相撲大事典 第2版』（金指 基/原著 日本相撲協会/監修 現代書館 2007年）2階 C13 R788.1/カ
「給与」の項目に「相撲協会『寄附行為施行細則』の『第八章 給与』の規定にしたがい、各職域および地位ごとに定められている」とあり。「力士の給与は[基本給・手当]からなり、十枚目以上力士に各本場所の番付階級により月給として支給される」とのこと。また「懸賞金」の項目には「懸賞のかかった取組の勝ち力士に与えられる賞金。平成18年（2006）現在の賞金額（※「財団法人日本相撲協会」HP（<http://www.sumo.or.jp/>）に、現在も同額で申込案内あり）は60,000円で、その内訳は力士本人に30,000円が渡され、本人名義の積立金が25,000円、取組表掲載料と場内放送料に5,000円となっている」とある。この懸賞は幕内の取組に限り、民間企業や力士後援団体などが懸賞金を提供し、協会に申し込んでかけるものである。

『大相撲の経済学』（中島 隆信/著 筑摩書房 2008年）分館 B788/ナ

平成20年時点における番付地位別の給与月額を紹介あり。横綱282万円、大関235万円、関脇・小結169万円、平幕131万円、十両104万円、幕下以下0円とのこと。

『みんなの大相撲』（田代 良徳/著 ベストブック2009年）1階ポ64 788.1/ナ

横綱から十両まで関取とよばれる力士たちは月給制で、固定給が毎月貰える。幕下以下の力士は養成員と呼ばれ、給金は場所ごとで、2ヵ月に1回の年6回もらえる。幕下で一場所15万円、三段目は10万円、序二段が8万円、序の口が7万円、この金額から税金などが引かれる。

Q：昭和20年ごろ行われた、預金封鎖について知りたい。

■金融関連

『金融辞典』（館 竜一郎/[ほか]編集 東洋経済新報社 1994年）2階 D6 R338.03/キ

1946（昭和21）年2月17日に金融緊急措置令が公布施行されると、同日現在の金融機関の預貯金などの債務はすべて封鎖され、引出しが不可能になったとある。

『金融』（加藤 隆・秋谷 紀男/編著 東京堂出版 2000年）2階 D14 338.21/キ

預金や債務を一切封鎖し、その支払いを原則として停止したが、各世帯では1ヶ月につき世帯主は300円、世帯員1人につき100円が生活資金として現金支払いを認められた。また、定期的給与については500円までに制限され、証明等があれば封鎖小切手支払いが認められた。

『日本金融百年史』（竹沢 正武/著 東洋経済新報社 1968年）閉架書庫

終戦直後のインフレーションから、緊急非常措置として預金封鎖が行われるまでの経緯が書かれている。また、この非常措置実施後の金融状況についても記述あり。

■団体史

『日本銀行八十年史』（日本銀行史料調査室 1962年）2階 D5 338.41/ニ/タ/ナ/シ

敗戦後のインフレーションの要因を挙げ、このような事態の悪化に伴い、金融緊急措置令が公布、即日施行されたことがわかる。預金封鎖を伝える新聞記事も掲載されている。

Q：古代ローマのお菓子について知りたい。

■飲食史関連

『世界食物百科 起源・歴史・文化・料理・シンボル』

（マグロンヌ・トゥーサン=サマ/著 玉村 豊男/監訳 原書房 1998年）2階 D7 R383.8/ト

「パンと菓子の歴史」の項目に古代ローマの菓子の歴史について記載あり。「菓子作りの専門家はローマ帝国末期になってはじめて現れた。古代ローマの菓子はパスティアヤというアラビア式のパイ菓子がある。これはチーズと蜂蜜の入った生地を伸ばし、一枚一枚重ねて作られる。スピラ（螺旋状の意）、スフェリタ（球形状の意）など名称に応じた形の菓子もあったが、アテナイではこれらの菓子よりもずっとフリッター（衣つき揚菓子）の方が人気があった」とある。

『古代ローマの食卓』（パトリック・ファース/著 目羅 公和/訳 東洋書林 2007年）2階D19 383.8/7
コース料理のデザート（メンサ・セクンダ）の項目に、菓子の紹介あり。古代の甘い菓子には、プラケ
ンタ（平らなケーキ）やリーブル（お供えの菓子）のように蜂蜜とコテージチーズをもとにしたものや
ヒュポトリッマのようにチーズとドライフルーツをもとにしたものがあった。また、前菜・主菜・デザ
ートに3コースから成る「献立表」の紹介もある。

■料理関連

『世界の食べ物 3』（野沢 敬/編 朝日新聞社 東京 1984年）2階E4 R596/㌥

「古代ローマの食事」の項目に、3コース、時には贅沢に7コースからなる宴会（ケーナ）料理の最後
にケーナ・セクンダまたはメンサ・セクンダと呼ばれるいわばデザートが供されたとあり。リンゴやザ
クロ、ハタンキョウ、ナツメシユロの実などの果物と、麦粉をミルクと油でこねて焼き、これに蜜をか
けた甘い菓子などが出されたとある。

Q： ガラパゴスゾウガメの寿命はどのくらいか？

■動物関連

『ガラパゴス 洋上の自然動物園』（内山 晟/著 番町書房 1971年）閉架書庫 482/㍑

ガラパゴス諸島に生息する動物達の写真集。ガラパゴスゾウガメとは島に生息する巨大な陸ガメ。時に
甲羅の長さ 1.5 メートル、重さ 300 キログラムに達するものもいるとあり。その寿命は 100 年とも
いわれるが、定かではないとある。

『最後のゾウガメを探しに』（千石 正一/著 広済堂出版 2001年）1階ポ 50 B482/㌥

ガラパゴス諸島のピンタ島に生息する、ピンタゾウガメ（ガラパゴスゾウガメの亜種）の「ロンサム（独
りぼっちの）ジョージ」についての記載。ピンタゾウガメはジョージ以外に発見されておらず、彼の死
によって地球上から永遠に姿を消すのだろうかとある。ジョージの推定年齢は 150 歳以上とあり。

■インターネット

ナショナルジオグラフィック公式 HP 【<http://www.nationalgeographic.co.jp/>】

動物>爬虫類>の中に「ガラパゴスゾウガメ」の項目ある。「脊椎動物の中で最も長命で、平均寿命は
100 歳を超える。最長で 152 歳まで生きた記録もある。」とある。なお、ニュースの中に、ロンサム
ジョージが 2012 年6月に死亡し、ピンタゾウガメは絶滅したかと思われたが、最近の調査で同じ遺
伝子を受け継ぐ固体が発見されたとあり。仲間がまだ生き残っている可能性が出てきた様子。

Q： 2013 年の国際年は何があるのか。

■関連資料

『国際連合の基礎知識 改訂版』

（国際連合広報局著 八森 充/訳 関西学院大学総合政策学部 2012年）2階D11 329.33/㍑

国際年とは。国際社会が1年間を通じて1つの共通した問題に取り組むこととしている。

2013年の国際年は、国際水協力年とキヌアの国際年*。*キヌアとは南米アンデス地方原産の穀物。

『Resolution and Decisions adopted by the General Assembly during its 65thsession Volume 1
Resolutions Supplement No. 49(公式記録)』(United Nations 2011) 2階国連A8 GA/65/Suppl.49-1
決議 65/154 がInternational Year of Water Cooperation, 2013(国際水協力年)とある。

『Resolution and Decisions adopted by the General Assembly during its 66thsession Volume 1
Resolutions Supplement No. 49(公式記録)』(United Nations 2012) 2階国連A8 GA/66/Suppl.49-1
決議 66/221 がInternational Year of Quinoa,2013(キヌアの国際年)である。

■インターネット

決議【<http://www.un.org/documents/resga.htm>】65th-2010>A/RES/65/154, 66th-2011>A/RES/66/221。

国際水協力年【<http://www.unwater.org/watercooperation2013.html>】(英語)

キヌアの国際年【<http://www.rlc.fao.org/en/about-fao/iyq-2012/>】(英語)

国連食糧農業機関 (FAO) 関連【<http://www.fao.or.jp/detail/article/939.html>】(日本語)

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『昭和戦前時刻表 [5] 汽車汽船旅行案内 昭和 15 年 1 月』 (新人物往来社 1999 年) 2 階 D7 R686.55/ツ

年末年始の旅行や帰省で、鉄道を利用された方も多いでしょう。最近では、乗り換えの場所や時間まで、インターネットで簡単に検索できてしまうので、時刻表とにらめっこして計画を練ることも少なくなりました。

『昭和戦前時刻表』のシリーズは、[1] 昭和 4 年 5 月 から [6] 昭和 17 年 10 月 まで、各年代の時刻表を復刻したものです。さて、この中の [5] 昭和 15 年 1 月 を見ていて違和感を覚えたのが、午前 6 時 30 分も午後 6 時 30 分も同じように「六、三〇」という表記になっていること。ではどのように午前と午後を見分けるのでしょうか。巻頭の「時間表の見出し方」で確認すると、「細字は午前」「太字は午後」とあり、字体の違いで見分けていたことがわかります。同じシリーズの [6] 昭和 17 年 10 月 になると、「十月十一日より(中略)二十四時制を実施することになりました」と説明があり、午後 6 時 30 分なら「一八三〇」とする現在に近い表記に変わっています。

この時期の時刻表には、満洲の鉄道路線や日満間の航路の時刻も掲載されており、当時の時代背景についても考えさせられます。

使ってみました！⇒昭和 15 年 1 月には、東京から博多まで何時間かかった？

東京・神戸・下関間急行列車(下り)のページを見ます。例えば午後 3 時東京発の特急に乗ると、下関着は翌日の午前 9 時 25 分。当時は関門トンネルが開通していないため、ここで連絡船に乗り換えて、9 時 35 分発→9 時 50 分着の汽船で門司に渡ります。それから 10 時 15 分発の急行に乗って、11 時 43 分に博多に到着。約 21 時間の長旅、お疲れ様でした！

※『昭和戦前時刻表』の他にも、各年代の時刻表をご覧になれます。以下 2 階 D7

『史料鉄道時刻表 : 明治四年～二十六年』(鉄道史録会/編 大正出版 1981 年) R686.55/ツ

『戦中戦後時刻表 [1]～[6]』昭和 18 年～22 年の各時期(新人物往来社 1999 年) R686.55/ツ

『時刻表復刻版 戦後編 [1-1]～[1-6]』昭和 22 年～36 年の各時期

(日本交通公社出版事業局 1977 年) R686.55/ツ

『時刻表復刻版 戦後編 [3-1]～[3-6]』昭和 31 年～42 年の各時期(JTB 1999 年) R686.55/ツ



図書館活用術 ～相互貸借について～

皆さんがお求めの本を総合図書館や分館で所蔵していない場合、「相互貸借」という方法で対応することがあります。これは、他の図書館での所蔵を調査し、その図書館から本を取り寄せて提供するという制度です。

福岡県内の公共図書館の間では、県立図書館が本を運ぶ仕組み作りを行っています。公共図書館にない専門書や学術書は、一部の大学図書館からも借りることができます。

出版されたばかりの本や、所蔵館で館内閲覧用になっているものなど、資料によっては相互貸借ができない場合もありますが、まずは、あきらめずにカウンターへ相談してみてください。



今年もよろしくお祈りします。

図書館は、今年も皆さんの本との出会いや疑問の解決をお手伝いします。
新しい年に何かを始めるためのヒント探しにも、ぜひ図書館をご活用ください。